

日本租税総合研究所 第1回国際課税委員会のご報告
～テーマ「経済の国際化と企業課税改革」～

日時：2006年10月19日 午後6時～8時
場所：経団連会館 1105号室

第1回国際課税委員会は、森信茂樹委員長、田近栄治副委員長、青山慶二副委員長、研究者、実業界、等のメンバー17名をもって開催された。



森信委員長、田近・青山両副委員長からの挨拶の後、委員長から、アジアに進出した日本企業の抱える国際課税上の諸問題について議論・研究を行っていくといった同委員会開催の趣旨が説明された。

これを受ける形で、田近副委員長から「経済の国際化と企業課税改革」といったテーマでの基調報告が行われ

た。報告では、海外直接投資をめぐる税制のあり方が大きな問題となっているという問題の所在が提示された上で、「アメリカの法人課税の実態と改革試案」、「Worldwide system から Territorial System」、「日本の選択」の3つの論点について、資料を交えながら示された。



この報告を踏まえ、各メンバーからは、アメリカの改革試案に対する評価、日本への影響、実務の実際上の問題点、今後の委員会の進め方、などの様々な意見が出された。各メンバーの自己紹介も同時に行われ、非常に活発な意見交換がなされた。



同委員会は、今後毎月1回のペースで開催される予定で、海外進出企業の具体的な諸問題や我が国の税制のあり方などについて検討を深めていくとしている。

次回は、青山副委員長から移転価格をめぐる諸問題について報告、議論を行なう予定。